

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：ポプラ第二保育園	種別：認可保育園	
代表者氏名：林田 治代	定員（利用人数）：42名	
所在地：〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰2-69-24		
TEL：045-520-3418	ホームページ： https://popura-hoikuen.com/popura-dai2/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2015年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：NPO法人ポプラの会		
職員数	常勤職員：11名 非常勤職員：8名	
専門職員	（専門職の名称）：名 管理栄養士：1名	
	保育士：14名 栄養士：1名	
	子育て支援員：2名	
施設・設備 の概要	（居室数） 居室：0～2歳児室	（設備等） 設備：調理室
	居室：3歳児室	設備：沐浴室
	居室：4～5歳児室	設備：事務室兼医務室
		設備：更衣室
		設備：トイレ
		設備：倉庫
		設備：園庭

③理念・基本方針

<保育理念>

子ども一人一人を大切にし、保護者から信頼され、地域に愛される保育園を目指す

<保育方針>

豊かな人間性を持った子どもを育成する

<保育目標>

1. 丈夫な体を作る
2. 豊かな心を育てる
3. 感覚器官を磨く
4. 生活リズムを整える
5. 言葉を獲得する
6. 仲間とともに喜び合う
7. 資源を大切にする

④施設・事業所の特徴的な取組

<保育姿勢>

- 良質な水準かつ適正な内容の保育・教育の提供を行うことにより、全ての子どもが健やかに成長するために適切な環境が等しく確保されることを目指す。
- 保育・教育の提供にあたっては、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進するため、利用する子どもの意思及び人格を尊重して保育・教育を提供するように努める。

<園として大切にしていること>

- 発達に応じた学び
- 一方的になにかを教えられるのではなく、子どもに自然に備わった五感を働かせて体験して得ること、それが学習の第一歩ととらえる。
- 日常生活や遊び、絵本の読み聞かせなどの中にある多様なチャンスを生かして、子どもたちが獲得していくべき、言葉や文字を使う力、絵を描く力、数や図形を理解する力をはぐくみたいと考えている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年07月11日（契約日） ～ 2023年02月13日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2017年度）

⑥総評

【ポプラ第二保育園の概要】

●ポプラ第二保育園は、同保育園から徒歩3分のところにあるポプラ保育園の姉妹園です。ポプラ保育園は、開園時は無認可保育所としてスタートしましたが、保育の実績が認められて、平成10年8月に横浜保育室として認証され、さらに平成18年4月からは認可保育所となりました。

●認可保育所を目指す過程において、ポプラ保育園の運営基盤を確立するために、平成15年10月には、「NPO法人 ポプラの会」を職員と保護者有志で立ち上げました。運営主体も固まったポプラ保育園に対して、入園を希望する保護者が相次ぎ、面積の関係から待機してもらわざるを得ない状況が続きました。「ポプラ保育園の保育を受けたい」という保護者の要望に応えられる方策を模索していたところ、近隣の篤志家から一戸建て住宅提供の話を受け、平成27年にポプラ第二保育園を開園できました。建物の床面積はとても広く、0歳児から5歳児までを預かる保育園として保護者のニーズにえています。

●ポプラ第二保育園は、相鉄線鶴ヶ峰駅の南口より徒歩3分のところに位置しています。鶴ヶ峰駅南口には、大規模商業施設「ココロット鶴ヶ峰」があり、同商業施設のあるブロックから50メートル程しか離れていませんが、保育園は住宅地の中にあり、閑静な佇まいです。保育園自体も、上述したように二階建て住居の外観をそのまま生かしており、周辺との景観に調和し、保育園とは気づかないくらい周囲に馴染んでいます。保育園は、建物南側部分の庭が広く、一部を園庭として利用していますが、大半は植栽空間であり、加えて、北側・東側は斜面のため自然の樹木が残り、建物の三方が樹木で囲まれた自然豊かな環境にあります。

◇特長や今後期待される点

1. 【子ども一人ひとりを大切にした保育】

ポプラ第二保育園の特長の第一は、一人ひとりを大切にする保育です。子ども一人ひと

りを大切にすることを保育理念とし、それを実践できるように、0歳児～2歳児については保育士を多く配置して、ゆとりを持たせています。合わせて、(1)全体定員が42人で大規模ではない、(2)全ての保育室が1階フロアにあり、かつ透明ガラス等による間仕切りで隣の部屋も見通せる、という環境が同理念の実践を下支えしています。そうした環境の下、保育士はスキンシップの機会を増やして愛着関係を築いた上で、個々の子どもの、(a)家庭での生活の違い、(b)成長、発達段階の違い、(c)その時々思い、感情、を踏まえ、一律の行動を強いるのではなく、その子の気持ちを尊重するように努めています。具体的には、一斉に行う活動や特別保育（体育、英語、ペンシリシア）でも、その子なりの参加の仕方を受け入れています。こうした保育の下で子どもたちが伸び伸びと過ごしていることは、表情やお話（幼児）により保護者にも伝わっています。また、保護者アンケートから、「一人ひとりを大切にしてくれる」という評価が多いことから伺えます。

2. 【働きやすさ・定着率の高さの要因】

特長の第二は、職員にとっての働きやすさです。ポプラ第二保育園の現園長は、平成27年の開園以来、職員が働きやすい職場、オープンな雰囲気職場の職場作りに意を注いできました。具体的には、先ずは休憩室を設置し、さらには保育園負担でお茶菓子も提供しています。そして、休憩をしっかりと取れるような勤務体制、人員体制を構築しました。さらに、休憩中に雑談、世間話、仕事に関するちょっとした相談等をフランクに話せる雰囲気も醸成してきました。設備・制度・風土の3要素が整った中で、職員は休憩をしっかりと取り、リフレッシュして午後の勤務に臨むことができます。この環境に満足している職員が多いことは、定着率の高さに表れています。

3. 【職員の教育、指導の機会について】

職員の満足度、定着率が高いこの状況を今後も維持、向上させるために、さらなる取り組みを今から講じておくのも一案かと思われます。ポプラ第二保育園では、職員定着率が高いことが主たる要因と思われるが、マニュアル類については、必ずしも整備は完全ではありません。特に、(1)保育実習生、(2)ボランティア参加者、(3)職業体験、インターンシップ等の中高生、など保育実務未経験者に対する受入れ、教育、指導等についてはマニュアル自体がありません。それは、(a)こうした指導業務は常時あるものではないこと、(b)業務発生時は、ベテランの統括主任または主任が担ってきたこと、も背景にあります。しかし、逆に言えば、一般保育士には、保育実務未経験者等を教育、指導する機会が少ないことを意味します。他者に教えることは、自らの知識、技能を振り返る機会にもなります。折しもポプラ、ポプラ第二の両保育園では、中堅職員に活躍の場を提供するために、人材育成研修担当、交流研修担当という2つの特命担当を設置したところです。今後は、この特命担当に「保育実務未経験者等指導」という区分も追加する等、一般保育士に指導能力向上及び活躍の機会を提供することが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：NPO法人ポプラの会 ポプラ第二保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

今回、2回目の第三評価の受審となりましたが、各担当部署でいろいろな分野を振り返り「子ども一人一人を大切にすること」、「子ども達の心身の成長に携わる保育園の責任の大きさ」、「保護者の皆さまと良い関係で互いに支え合えることの重要性」を改めて確認でき、とても貴重な時間を全職員で経験することができました。その中でも、通常

に行っていた取り組みを違う視点でそれぞれ見ることで、新たな発見や改善点を見つけることができました。また、良い保育園のイメージ像を職員で協議し、職員のチーム力を高め合うことで保育の質の向上につながることを再認識しました。

保護者の皆さまには、お忙しい日々の中で保育園に向けたアンケート用紙にご回答いただき誠にありがとうございました。保護者の皆さまから「一人一人を大切に・・・」というお褒めのメッセージを多くいただいたこと職員一同、とても嬉しく保育運営に向け益々志気が高まっています。

これからも、どうぞ宜しくお願い致します。

<評価後取り組んだ事として>

1. 第三者評価の保護者アンケートに対して取り組めるご意見やご希望について、職員会議を重ね、概ね実施できるように取り組んできました。（保育、給食）
2. 現在の状況に合わせ、風通しの良い保育（可視化）を図れるようICT化をより進め、保護者の皆さまと情報共有ができるようにしてきました。また、感染対策を行いながら行事が実施できる方法を検討し実行してきました。
3. 令和5年度に向け、今年度の第三者評価の結果を踏まえ保育の質の向上、行事の見直し等を振り返り、職員一同協力し合いながら保育運営を進めていきたいと思っております。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり